

学校・教育委員会



柱1 災害を自分事化する P20

【目指すべき姿】

自分の命は自分で守れるよう主体的に防災に取り組む

【主な役割】

- 児童生徒が発達段階に応じて地域の災害特性を理解し、自分の命を守る行動を主体的に取ることができるようになる防災教育の実施

【取組み例】

- 発達段階に応じた防災学習
- 地域の災害リスクの理解
 - ・ 防災まちあるきの実施 など
- 主体的な判断・行動力の習得
 - ・ 家庭との防災計画・避難計画の共有 など

取組みの参考となる事例

『幼保から中学生まで「切れ目のない防災教育」』 P65

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる P28

【目指すべき姿】

地域住民が互いに助け合い、自分たちの地域は自分で守る

【主な役割】

- 地域の防災拠点として、自主防災組織や他主体と協働・連携し、訓練や備えを通じて「共助」体制を強化

【取組み例】

- 地域の多様な団体（町内会・PTA・コミュニティスクール・学校運営協議会等）との協働・連携
 - ・ 学校を指定避難所とする際の避難所運営計画の策定に協力
 - ・ 市町村や自主防災組織等と連携した合同防災訓練への協力・参加 など

取組みの参考となる事例

『複合的なハザードを踏まえた学校での緊急時引き渡し・留め置き訓練(地震災害)』 P49

『学校と地域による避難所開設を想定した連携体制の構築』 P51

『しばはし防災ネットワークによる地域の防災力向上』 P53

柱3 幅広い担い手を育成する P37

【目指すべき姿】

専門的な知識と技能をもったリーダーや担い手を育成

【主な役割】

- 将来の担い手育成のため、教職員自らが、地域の特性を踏まえた防災教育を計画し実践

【取組み例】

- 教員が地域防災を学び実践につなげる取組みの充実
 - ・ 地域特性を踏まえた児童生徒への防災教育 など
- 地域と連携した実践的な防災教育の展開
 - ・ 自主防災組織等との協働による体験型学習の実施 など

取組みの参考となる事例

『児童生徒と教職員を対象とした学校防災の強化』 P61

『幼保から中学生まで「切れ目のない防災教育」』 P65

『中山町全世代防災教育普及事業』 P67